

科目名	比較文学特殊研究	担当者	アキカサ シュンイチロウ 秋草 俊 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>比較文学の後継ディシプリンとして注目をあびている「世界文学」についての最新の英語の学術書を一年かけて精読していく。世界文学を考えるうえで概念モデルとしての「エコロジー」がどこまで有効なのか、先行するカザノヴァ・モレッティの経済モデルと比較して考えてみてほしい。</p> <p>上記のような活動を通じて、専門的な英文読解力、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、省察力を身につけることを目指す。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 英語の学術書を精読し、内容について批判的に議論できるようになること。 英語を含む参考文献・引用・注の体裁をととのえた学術論文の執筆形式に習熟すること。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 英語の学術書を数か月で通読できる語学力の獲得。内容を適切に要約・説明しうる翻訳力の獲得。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間 レポート執筆：15 時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15 時間</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 インタラクティブなレポート提出システム manaba を用いる。そのうえで面接ゼミ・サイバー・ゼミのいずれかに参加し、課題レポートについての報告をおこなうことが推奨される。</p> <p>【学修方略 (LS)】 教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。</p>		
スケジュール	<p>前期： 7 月中旬までに教材 1 のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については 9 月中旬までに最終稿を提出。</p> <p>後期： 11 月中旬までに教材 2 のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については 2019 年 1 月中旬までに最終稿を提出。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、学術論文の体裁が整っているか評価する。
	平常評価	20 %	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	<p>やや大変と思われるかもしれないが、英語で学術文献を精読できることは博士論文執筆の最低条件であるので、一年をかけて一冊の学術書を読むことで英語読解力を養成してほしい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： Alexander Beecroft 教材名： <i>An Ecology of World Literature</i> . Verso. 2015. \$29.95.
	著者はサウスカロライナ大学の准教授で、古代ギリシアと古代中国双方の専門家である。世界文学を「エコロジー（生態系）」の比喻で読み解こうとした最新の学術書。
参考図書	パスカル・カザノヴァ 『世界文学空間』（藤原書店，2002）ISBN： 978-4894343139 8,800 円＋税
履修上のポイント	世界文学空間を経済の観点から定義したパスカル・カザノヴァ『世界文学空間』と教材を比べて読んでみる。ほかにも当然ながら引用されている文献にできるだけ目を通してから課題に挑戦してほしい。
レポート課題 1	<i>An Ecology of World Literature</i> の前半（Introduction, 1, 2, 3）の中から二章を選んで内容を要約し、批判的に自分の意見を述べなさい（3,000 字以上）。 留意点： つまりアカデミックな書評を書くというもので、当然ながら先行の書評が参考になるはずである。学術論文の体裁を守ること。
レポート課題 2	<i>An Ecology of World Literature</i> での議論を参考にして、自分で文学作品を一つ以上とりあげて論じなさい（4,000 字以上）。 留意点： 扱う作品は日本語含め、どんな作品でもかまわない。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： Alexander Beecroft 教材名： <i>An Ecology of World Literature</i> . Verso. 2015. \$29.95.
	著者はサウスカロライナ大学の准教授で、古代ギリシアと古代中国双方の専門家である。世界文学を「エコロジー（生態系）」の比喻で読み解こうとした最新の学術書。
参考図書	フランコ・モレッティ 『遠読——<世界文学システム>への挑戦』（みすず書房，2016） ISBN-13： 978-4874246733 4,600 円＋税
履修上のポイント	世界文学を経済や歴史のシステムの観点から定義したフランコ・モレッティ『遠読』と教材を比べて読んでみる。ほかにも当然ながら引用されている文献にできるだけ目を通してから課題に挑戦してほしい。
レポート課題 1	<i>An Ecology of World Literature</i> の前半（4, 5, 6）の中から二章を選んで内容を要約し、批判的に自分の意見を述べなさい（3,000 字以上）。 留意点： つまりアカデミックな書評を書くというもので、当然ながら先行の書評が参考になるはずである。
レポート課題 2	<i>An Ecology of World Literature</i> での議論を参考にして、自分で文学作品を一つ以上とりあげて論じなさい（4,000 字以上）。 留意点： 扱う作品は日本語含め、どんな作品でもかまわない。